### オーディオ実験室収載

# タップリベラメンテとフィルタライザーの活用(3) --47 研フォノイコ 4718「信楽」への適用--

#### 1. はじめに

前報(2)の iPhono に引き続き、フォノイコを iPhono から 48 研フォノイコ 4718「信楽」に替えてタップリベラメンテとフィルタライザーの効果を確認します。

2. タップリベラメンテとフィルタライザーおよび foQ シートの試聴方法

今回は、LINN LP-12 に装着した Ortofon Royal N から 47 研のフォノイコ 4718 経 由のアナログ再生について実施しますが、前報(2)同様、タップリベラメンテとフィ ルタライザーの効果の確認の前に、foQ シートの効果を確認します。

購入したfoQシートを切り取って、フォノケーブルの端子に貼り付けます。

この処理の後、4718の専用電源はタップリベラメンテから取り、専用電源のACケーブルの接続部にフィルタライザーを取り付けます。DCケーブル側は長さが不足するので見送りました。



## 3. タップリベラメンテとフィルタライザーおよび foQ シートの試聴結果

上記の処置を施さない状態で聴きましたが、パワーリベラメンテその他の対策を施してきていますので、以前とは随分印象が違います。4718 のストレートな表現はそのままにかなりしっとりとした表現もできるようになっていますが、もう少し静寂感の欲しいところです。この状態で foQ シートの対策を施しますと、4718 のストレートな表現はそのままに、静寂感についてもかなり満足できる状態になってきて 4718 を見直しました。

次に、4718の電源はパワーリベラメンテで給電したチクマのタップからとっていますが、タップリベラメンテから取りますと、foQ シートの対策を施した状態からさらに滑らかで聴きやすくなりました。

さらに専用電源のACケーブルをフィルタライザーに巻きますと、ディテールがよく分かるようになり、音に艶が乗ってきます。

# 4. まとめ

48 研フォノイコ 4718「信楽」におけるタップリベラメンテとフィルタライザー、ならびに foQ **シートの**効果が確認できました。この分では常時接続も考慮してよさそうです。

以上